## 有機農業・環境 保全型農業部門

# 広島県立庄原実業高等学校

中国四国農政局長賞

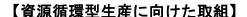
団 体 名:広島県立庄原実業高等学校 面 積:0.1ha 所 在 地:広島県庄原市 構 成 員:11 人

応募区分:団体の部 生産品目:鶏卵

## 取組の紹介

### 【校内生産の鶏卵の高付加価値化へ】

〇 広島県立庄原実業高等学校の生物生産学科3年生に 在籍する11人が鶏卵についての授業をきっかけにアニ マルウェルフェアと平飼いによる高付加価値化の可能 性に興味を持ったことから、令和3年度から実習農場 で生産される野菜等残渣の有効活用を視野に、平飼い による資源循環型農業の実証に取り組むこととなっ た。また、京都大学からシロアリの破壊的木材分解能力 を利用してシロアリを繁殖・飼料化し、鶏に給餌する研 究の協力依頼を受け、データ収集と実証に取り組んで いる。



- 〇 鶏舎の飼育環境を整備し、品種名「もみじ」を 116 日 齢で 50 羽導入。現在、鶏の生育記録、給餌記録、産卵 記録等の調査中であるが、野菜残渣等の活用、稲わらの 活用、シロアリの給餌、及び平飼いの床土の畑への還元 等を通じた資源循環型農業への貢献、並びに平飼いに よる生産性の向上について検証している。
- 野菜等残渣の活用及び未利用木材を利用したシロア リの繁殖・給餌等により、濃厚飼料に依存した経営から の脱却を図り、資源消費型から資源循環型農業生産に 転換する。また、平飼いを開始してからは鶏舎からの悪 臭が大幅に軽減されたほか、ハエなどの衛生害虫も減 少したことから、近隣地域への臭気対策にも効果がみ られた。

#### 【地域と連携した取組の推進】

- 生産した鶏卵はオープンスクールや校内で販売して おり人気が高い。今後は農業高校による資源循環型鶏 卵としてブランド化を目指し、地域のスーパーでも販 売できるよう鶏卵の安定生産に務めている。
- 〇 週 1 回校内に農産物・加工品の販売所を開設している。ここで地域住民と交流する機会を活用し、地域住民 に取組内容を伝え、理解の推進を図っている。



生徒が鶏舎を整備



平飼いの鶏舎内



未利用木材を利用した給餌用 シロアリの繁殖 (京都大学での研究に協力)